

日本物理学会2013年秋季大会 市民科学講演会

高エネルギー物理の話題から — 質量の起源とヒッグス粒子 —

講師：小林誠（高エネルギー加速器研究機構
特別栄誉教授・2008年ノーベル物理学賞受賞）

$$\mathcal{L} = -\frac{1}{4}F^{\mu\nu}F_{\mu\nu} + (D^\mu\phi)^\dagger(D_\mu\phi) - \lambda\left(\phi^\dagger\phi - \frac{v^2}{2}\right)^2$$



講演概要： 昨年「ヒッグス粒子発見」というニュースが新聞などで大きく報道されました。私たちの身の回りの物質は、突き詰めるといくつかの基本的な素粒子から構成されていますが、ヒッグス粒子はそれらの基本的な素粒子に質量をあたえる役割を持っていると言われています。そのメカニズムは素粒子の標準理論と呼ばれるものの基本的な構造と深く関わっており、たいへん興味深いものであります。

講演ではヒッグス粒子を通じて、自然界の基本的な仕組みについて、できるだけわかりやすく解説します。

日時： 2013年9月28日13時30分開場
14時～15時30分

場所： あわぎんホール・大ホール

参加費： 無料(事前申し込み不要)

主催： 日本物理学会

日本物理学会2013年秋季大会実行委員

後援： 徳島県教育委員会、徳島市教育委員会

問合せ先： 総合科学部 日置(088-656-7234)

工学部 中村(088-656-7577)

